

■ 外研社·供高等学校日语专业使用

新经典 日本语

基础教程

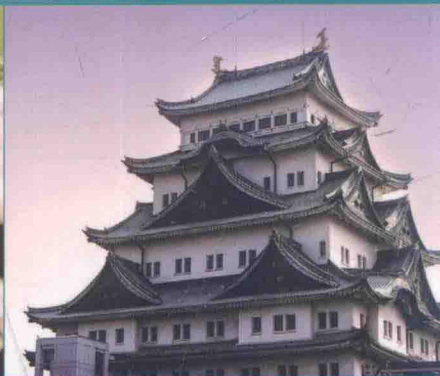
总主编 / 刘利国 宫 伟

主 审 / 修 刚 陈 岩 石川守(日) 松下和幸(日)

主 编 / 贺静彬 于 飞 王 猛

にほんご

第二册



外语教学与研究出版社

含MP3光盘一张

■ 外研社·供高等学校日语专业使用

新经典 新日本语

基础教程

总主编 / 刘利国 宫 伟
主 审 / 修 刚 陈 岩 石川守(日) 松下和幸(日)
主 编 / 贺静彬 于 飞 王 猛
副主编 / 胡小春 吕 萍 张建伟 李妍妍 申 鑫
编 / 沈 阳 安 月 王 璐 刘艺寒
佐藤重人(日) 齐藤贡(日)
小井亚津子(日) 磯部香(日)

にほんご

外语教学与研究出版社

北京

第二册

图书在版编目 (CIP) 数据

新经典日本语基础教程. 第2册 / 贺静彬等主编; 沈阳等编. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2014.12 (2015.7 重印)

(新经典日本语 / 刘利国, 宫伟主编)

ISBN 978-7-5135-5395-7

I. ①新… II. ①贺… ②沈… III. ①日语—高等学校—教材 IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2014) 第 295617 号

出版人 蔡剑峰
项目策划 彭冬林 杜红坡
责任编辑 刘宜欣
装帧设计 佳禾书装
插图设计 任洪旭
出版发行 外语教学与研究出版社
社 址 北京市西三环北路 19 号 (100089)
网 址 <http://www.fltrp.com>
印 刷 北京市大天乐投资管理有限公司
开 本 787×1092 1/16
印 张 15
版 次 2014 年 12 月第 1 版 2015 年 7 月第 3 次印刷
书 号 ISBN 978-7-5135-5395-7
定 价 48.00 元 (含 MP3 光盘一张)

购书咨询: (010) 88819929 电子邮箱: club@fltrp.com

外研书店: <http://www.fltrpstore.com>

凡印刷、装订质量问题, 请联系我社印制部

联系电话: (010) 61207896 电子邮箱: zhijian@fltrp.com

凡侵权、盗版书籍线索, 请联系我社法律事务部

举报电话: (010) 88817519 电子邮箱: banquan@fltrp.com

法律顾问: 立方律师事务所 刘旭东律师

中咨律师事务所 殷 斌律师

物料号: 253950001

前言

近年来,我国高等院校外语专业在人才培养模式、课程设置、教学内容、教学方法等方面都发生了很大的变化。为了适应新的教学需求,在对全国不同类型院校日语本科教学现状进行调研的基础上,大连外国语大学和外语教学与研究出版社共同组织中日两国专家和一线教师编写了这套《新经典日本语》本科系列教材。

《新经典日本语 基础教程》是以中国高等院校零起点的日语专业本科学生为对象,以培养学生听、说、读、写综合语言交际能力为目标的教材。本教材以《高等院校日语专业基础阶段教学大纲》为依据,参照《日本国际交流基金日语教育标准2010》对相应学习阶段的要求编写而成。基础教程共分四册,第一册含“发音”和14课,第二、三、四册各有16课。各院校可以按照每周一课(8课时)的进度安排教学,教师也可以根据学生的接受程度灵活掌握。

本系列教材在学习和吸收国外第二语言教学的先进理念和方法的基础上,借鉴国内外已经出版的优秀教材的经验,结合中国日语本科教学的现状和大纲要求编写而成。在编写设计中,主要体现了以下几个特点:

1. 以学生为中心,激发自主学习动力和语言探究潜能。本教材在课堂组织中强调学生的参与度。教师在课堂上的角色不再是单纯的课文讲授者和知识传播者,而是学习的引导者、语言交际任务的设计者。教师的任务主要体现在如何调动学生学习的积极性,如何引导学生有效参与课堂活动以及进行语言探究,从而激活他们内在的语言知识系统。以学生为中心,并不是要放弃教师在课堂中的主导地位,而是要让教师成为优秀的课堂引导者,最大限度地调动每一个学生参与到课堂中,激发他们自主学习的动力和对一门外来语言探究的渴望。有趣、活泼的课堂教学才是高效率的。为此,作为基础阶段教材,并不过分强调语言知识,特别是语法理论知识翔实讲解,而是以帮助学生发现和总结语言规律、举一反三、灵活运用为目标。

2. 以输出为驱动,培养综合应用能力。语言是交际的工具,学习语言的根本目的是为了和他人有效沟通。本教材强调输入与输出并举,以输出为驱动,培养学生在真实语境下完成语言交际任务的能力。具体来说,教材在注重听力与阅读理解等语言输入能力的同时,突出学生口语和书面表达能力的训练,即语言的输出,并为此提供语言输出表达的各种场景和材料。本教材在以主题(话题)——情境——功能为主线的结构设计中,引入任务教学法的理念和方法,设计多样化的真实语境交际任务。学生在完成任务的同时培养了对语言的兴趣、成就感和听说读写综合应用的能力。

3. 融文化于语言学习中,培养跨文化思辨能力。语言是文化的载体,不了解目标语言国的文化是没有办法真正学好这门语言的。本教材在编写中以跨文化交际理论为指导,强调将跨

文化交际与文化冲突融入到语言学习之中。为了实现这一目标，只是在每一课后设置一些有关所在国风土人情的“小知识”是远远不够的，而是要将文化的精髓、民族的文化特质融入到语言交际中。为此，本教材在选材设计上强调内容的深度（有意义）和真实性，要让学习者从语言学习中感受、了解到另一文化的特征。通过语言学习，不仅获得了交际技能，而且了解到不同民族间的文化差异在语言和思维上的真实表现，从而培养学生在跨文化交际中的思辨能力。

4. 立体化教学，提供更为宽广的交际平台。在新的数字化环境下，外语学习途径变得更加丰富、多样、便捷。特别是网络技术和移动平台的发展，打破了传统的时间和空间限制，为学习者提供了更为宽广的交际平台。本套教材体系除包含传统的纸质教科书、录音光盘以及助学课件外，还有针对教学需求开发的语言测试系统和网络化学习平台，为学习者提供诊断式学习方案，及时帮助学习者检测自己的水平和能力，发现具体不足之处，并为每一个学习者提供个性化的指导意见和学习课程。

以上是本教材的基本理念和设计特点。我们在编写过程中虽然借鉴和吸收了国内外优秀教材的经验并提出自己的创新理念，但限于我们的学识和经验，在具体教材设计中还存在着诸多不足，在新观念、新方法的应用中难免存在鹦鹉学舌之陋。我们诚挚地希望专家和使用单位不吝赐教，提出批评和建议，使我们能不断修订，把本教材编写成一部学习者叫好的经典教材。

《新经典日语》编写组

2014年8月26日

使用说明

本教材是以主人公李明和杨欣欣（日语专业1年级学生）进入大学后，在与周围老师、同学、朋友的交往中逐渐成长为主线展开叙述的。第一册和第二册的会话场景设在中国，第三册和第四册过渡到日本。这是为了使学生通过体验式学习，循序渐进地提高自己的实际交际能力。

各课由以下内容构成：

学习目标

概括各课所涉及的内容，并明确列出学习重点。学生应在每课的开始就确认好重点并围绕其进行学习。

语法要点

概括本课需要重点掌握的语法、句型和表达方式等。

基础会话

多以AB对话形式列出与“语法要点”相对应的简短对话。

应用会话

“应用会话”是每课的重点，在“基础会话”的基础上进行了编排，设置了校园内外各种自然、真实的场景，使用与该场景相符合的重点句型，以此来呈现自然、地道的日语。

教师在简单设定好情景后，可不让学生看教材，而是让他们听录音，让学生想象整体的情景，加深对内容的理解，提高综合运用能力，同时把握文化内涵。为了能让学生进行流利的对话，要根据学生的具体情况，安排口头练习、角色扮演练习、总结所学内容的大意等环节。

单词

单词按照“基础会话”“应用会话1”“应用会话2”“正文”“句型”“注释”“练习”的顺序，分别罗列到各个版块。学生在学习单词时，希望不只是通过汉语解释来理解其意，还要通过实际运用来真正掌握。单词部分的词类规定如下：

1. 词类用日文表记，如〔名〕、〔形動〕等。

2. 一个词兼有两种以上词类时，中间用“·”隔开。

3. 词类略语

[名] 名词	[代] 代名词	[形] 形容词
[形動] 形容动词	[副] 副词	[副助] 副助词
[終助] 终助词	[連体] 连体词	[連語] 连语(词组)
[助数] 助数词(量词)	[接頭] 接头词	[接尾] 接尾词
[感] 感叹词	[接續] 接续词	[五] 五段活用动词
[上一] 上一段活用动词	[下一] 下一段活用动词	[力] 力行变格活用动词
[サ] サ行变格活用动词	[自] 自动词	[他] 他动词

正文

概括“应用会话1”“应用会话2”的主要内容。教师在学生熟悉“应用会话1”“应用会话2”的内容后，要求学生先对其进行归纳、总结，接着听“正文”录音，最后让学生将两者进行对比，以此来找出不足。

句型

对本课需要重点掌握的句型加以解释、说明，并各配有约4个例句。例句没有译文，教师上课可以灵活运用。

注释

对本课需要重点掌握的语法、表达方式等加以解释、说明，并各配有约4个例句。例句没有译文，教师上课可以灵活运用。

练习A

为替换练习。通过替换等来巩固基本功。形式上是仿照例句进行的，不设参考答案。该练习按照和“句型”“注释”相应的顺序排列，所以理解了“句型”“注释”中的一个语法项目后，马上做相应的“练习A”中的练习更有效果。根据学生的实际情况可以适当增加练习题。

练习B

为看图进行会话的练习。该练习难度相对较大，不但要求学生能够看懂插图，而且要求结合插图，运用各课的语法项目来进行会话练习。由于对插图的理解因人而异，教师上课需灵活运用，对比较难懂的插图也可以稍加提示，尽量用日语。

练习C

把各课的语法项目和已学项目组合起来进行分组讨论练习。在完成“练习A”和“练习B”的基础上，进一步增强学生的实际运用能力。首先分成小组，运用学过的语法项目和单词对问题进行讨论，然后派代表归纳本组的讨论结果，课后要求学生根据讨论结果写一篇短文，从各方面来提高日语综合应用能力。

关联词语

为了扩充词汇量和更好地进行练习C中的讨论，在每课中加入了关联词语。关联词语按照主题分类汇编，便于记忆。

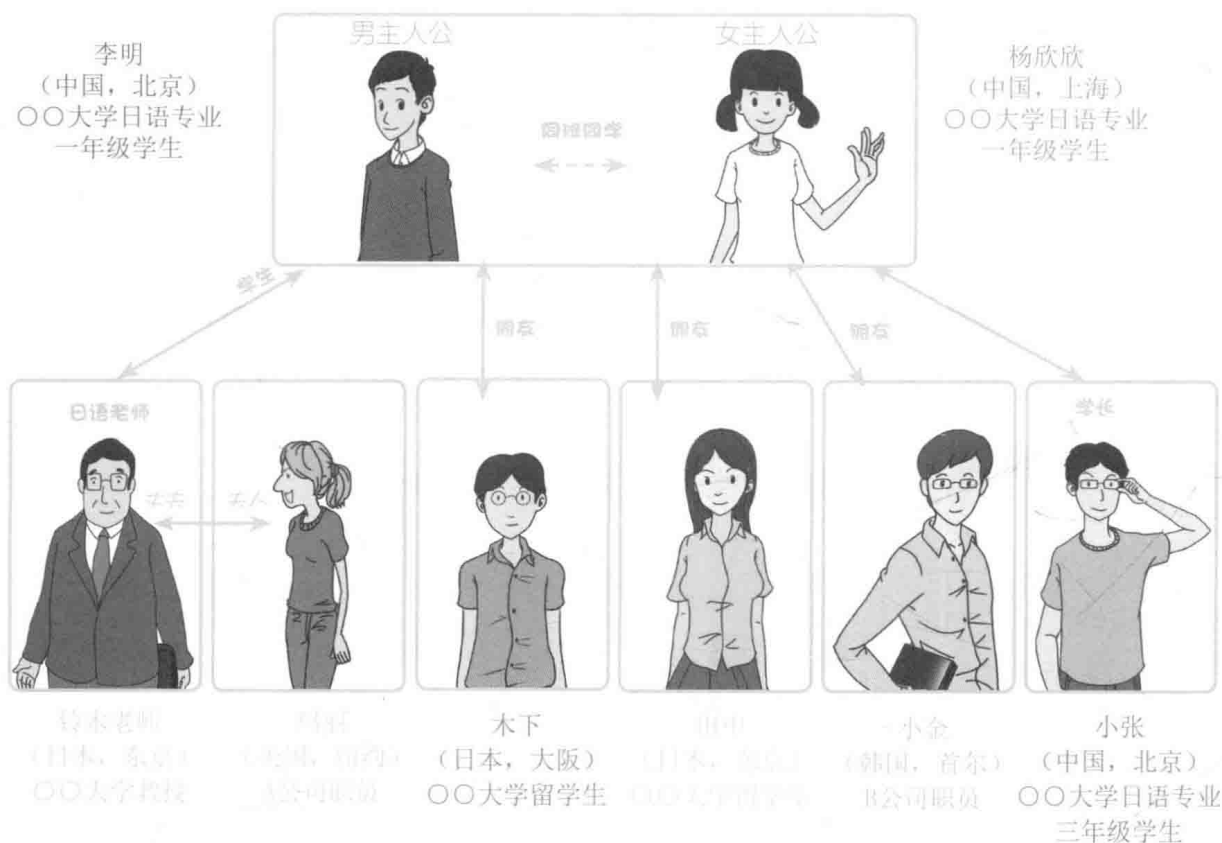
小知识

用专栏的形式简短地介绍了与本课话题相关的日本文化、习俗等知识。

本书中的符号含义如下：

符号	日文含义	中文含义
N	名詞	名词
V	動詞	动词
A	形容詞	形容词
AN	形容動詞	形容动词
/	または	或者
[]	品詞	词类
()	説明	解释

出场人物介绍



/ 语法知识 /

/ 相关词汇 /

/ 社会文化常识 /

● 推测的表达方式

疾病、症状、医生的处置、
亲友生病时的问候

日本的“冠婚葬祭”

● 推测及传闻的表达方式

毕业后的计划、理想就业地

日本的茶道

● 条件句的表达方式1
● 假定形

旅行时间、旅行地点、旅行
伙伴、喜欢旅行的理由

富士山

● 条件句的表达方式2

礼物的种类、功能、感情

日本诺贝尔文学奖获得者

● 被动句的表达方式
● 动词被动形

事故的种类、事故的原因

歌舞伎

● 使役句的表达方式
● 动词使役形

社团、任务

日本大学的“部活”

● 使役句和授受关系句
相结合的表达方式
● 使役被动形

实习地点、理由

日本公司的入职教育和企业培训

● 日语敬语的表达方式1

课型、课堂发表的准备、课
堂发表时的注意事项

“二重敬語”

● 日语敬语的表达方式2

忘年会的流程、忘年会干事
的职责

日本的“忘年会”

目录

/ 课 /

/ 交际 /

001

第1课 冬休み

假期生活

015

第2课 勉強

学习情况及方法

029

第3课 英会話

外语学习班

043

第4课 小テスト

考试的相关情况

055

第5课 文化祭

大学生的课余活动

069

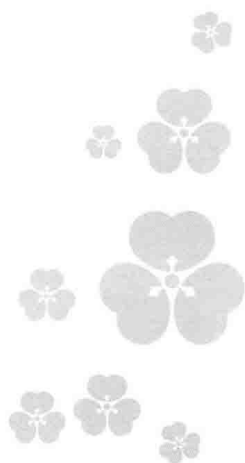
第6课 社会見学

参观公共场所时的注意事项

079

第7课 協力

请求他人帮助



/ 语法知识 /

/ 相关词汇 /

/ 社会文化常识 /

● 日语自他动词

暑假准备、目标 / 活动、变化

日本的历史年代

● 动作发生时间的表达方式 1

学习日语的感想、日语学习的难点、学习方法、学习计划

日本的天皇

● 动作发生时间的表达方式 2

学习英语会话的契机、英语会话的练习方法、和外国人进行英语会话的感想、参加英语会话考试的结果

日本的“五大昔話”

● 常用补助动词

考试准备、目标 / 结果、反思

日本大学的入学考试

● 决定或规定的表达方式

大学活动、形式及对其感兴趣的原因

俳句

● 目的、目标、命令的表达方式

参观用语、禁止事项

日本的泡沫经济

● 动词命令形

● 授受关系的表达方式

需要他人帮助时的表达方式

日本人的集团意识

091

第8課 病院で

●看病

105

第9課 アルバイト

●打工前后

119

第10課 旅行

●青岛之旅

133

第11課 誕生日

●策划及举办生日会

147

第12課 事件

●被盗事件

159

第13課 部活

●社团活动

175

第14課 研修

●职场实习

187

第15課 ゼミ

●选课与课堂发表

203

第16課 忘年会

●策划及举办忘年会

语法要点

1. Aく なる
2. ANに なる
3. N1が N2に なる
4. Nを Aく する
5. Nを ANに する
6. N1を N2に する
7. Nに する
8. Nの/V (连用形) たまま
9. 自動詞・他動詞

第

1

課

学习目标

冬休み

- 1 初步掌握日语自他动词的用法。
- 2 初步学会如何介绍假期生活。
- 3 了解日本的历史年代。



基础会话

1. A: 顔色が良くなりましたね。病気はもう大丈夫ですか。
B: おかげさまで、もう大丈夫です。
2. A: 賑やかな町になりましたね。
B: そうですね。地下鉄の駅ができましたから。
3. A: 将来、何になりたいですか。
B: 私は小学校の先生になりたいと思います。
4. A: 久しぶりですね。あれ、髪を切りましたか。
B: はい、少し短くしました。
5. A: 午後友達が来ますけど。
B: じゃあ、早く部屋をきれいにしましょう。
6. A: 私は教育学を専門にしたいと思っています。
B: じゃあ、この本がおすすめですよ。
7. A: 最近大気汚染のニュースが話題になっていますね。
B: そうですね。じゃあ、今日の授業のテーマは環境問題にしましょうか。
8. A: 座ったまま読んでもいいですか。
B: いいえ、立って読んでください。
9. A: ドアを開けてください。荷物を持っているので、手がふさがっています。
B: あれ、開きませんよ。鍵がかかっています。

基础会话单词

しょうがっこう 小学校③	[名]	小学
きょういくがく 教育学④	[名]	教育学
せんもん 専門①	[名]	专业
たいき おせん 大気汚染④	[名]	大气污染
わだい 話題①	[名]	话题
かんきょうもんだい 環境問題⑤	[名]	环境问题
かかる②	[自五]	上锁

应用会话

应用会话1 冬休みの後、久しぶりの再会

(寒假后，田中在校园里遇到了杨欣欣。)

田中：楊さん、久しぶりですね。冬休みはどうでしたか。

楊：毎日たくさん食べていたので太りました。

田中：そうですか。あまり変わって
いませんよ。

楊：コートを着ているからですよ。
実はウエストが太くなりました。
田中さんは元気でした
か。

田中：私は今朝から、急に頭が痛く
なって…。たぶん風邪です。

楊：大丈夫ですか。部屋を温かくして、よく休んだほうがいいですよ。

田中：ありがとうございます。ストーブを使っていますから、大丈夫です。

楊：でも、ストーブをつけたまま、寝てはいけませんよ。危ないですから。

应用会話1単語

太る②	[自五]	胖, 发胖
ウエスト①②	[名]	腰围
太い②	[形]	粗
急①	[形動]	突然
ストーブ②	[名]	火炉, 暖炉
つける②	[他下一]	点燃; 打开(电源)

応用会話2 新学期の目標について話し合う

(杨欣欣和学长小张谈起新学期的学习目标。)

楊：張先輩、日本語の書き言葉は
難しいですね。作文はなかなか
上手になりません。嫌にな
ります。

張：楊さんの気持ちはよくわかり
ます。私も同じ道を通りまし
たから。でも先学期は、作
文の成績がすごく上がりました。

楊：えー、それはうらやましいで
すね。私も作文の成績を上げ
たいなあ。何かいい方法が
あったんですか。

張：そうですね。私は先学期、日

应用会話2単語

書き言葉③	[名]	书面语
作文①	[名]	作文
通る①	[自五]	走过, 通过
先学期③	[名]	上学期
成績①	[名]	成绩
上がる①	[自五]	提高, 上升
羨ましい⑤	[形]	羡慕
上げる③①	[他下一]	提高
大切①	[形動]	重要
得意②①	[名・形動]	擅长
大好き①	[名・形動]	非常喜欢
完璧①	[名・形動]	完美
アナウンサー③	[名]	播音员
手本②	[名]	榜样, 模范
今学期③	[名]	这学期
目標①	[名]	目标

本語の本をたくさん読みましたが…。

楊：本ですか…。私は読むのがあまり好きではありません。

張：そうですか。成績を上げるのも大切ですが、まずは勉強を楽しんだほうがいいですよ。楊さんは、会話が得意ですよ。

楊：はい、話すのは大好きです。私は日本語の発音を完璧にしたいです。

張：じゃあ、NHKのアナウンサーをお手本にするのがいいですね。

楊：はい、じゃあ、今学期は、NHKを聞いて、きれいな発音を目標にします。

正文

張さんの目標

また、新しい学期が始まりました。私は来年、4年生になるので、将来を考えなければなりません。先学期は、目標が決まらないまま、冬休みになりました。今学期は、はっきり目標を決めたいと思います。私はやはり、日本語の先生になろうと思います。ですから、日本語の教え方の勉強を始めようと思います。まず、教科書を1冊買って、基礎知識を身に付けます。それ

から、卒論の研究テーマも見つけないと思っています。今は、日本語の音声に関心があるので、その分野の論文をよく読むつもりです。先日、後輩の楊さんから、勉強方法について質問がありました。私は、「まずは勉強を楽しんだほうがいい」とアドバイスをしました。私自身も、この言葉を忘れないで、楽しく勉強したいと思います。「光陰矢のごとし」、時が経つのは速いです。今のこの気持ちを大切に、頑張ります。

決まる①	[自五]	決定, 規定
おし 教 方①	[名]	教学方法
きょう 教科書③	[名]	教科书
き 基礎①②	[名]	基础
ちしき 知識①	[名]	知识
み 身に付ける	[連語]	掌握
そつろん 卒論①	[名]	毕业论文
おんせい 音声①	[名]	语音, 声音
かんしん 関心①	[名]	关心
ぶんや 分野①	[名]	领域
ろんぶん 論文①	[名]	论文
じしん 自身①	[名]	自己
こういん や 光陰矢のごとし		光阴似箭

正文单词